

学内禁煙措置について

新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止・重症化予防の観点から、卒煙支援室を含め学内での喫煙を当分の間、全面的に禁止します。

学生生活部長
張 涛

参考：「通学・学内での注意事項」2020年3月31日より抜粋

喫煙について

「ヨーロッパ疾病予防管理センター」によると、喫煙者が新型コロナウイルスに感染した場合、呼吸障害が起こりやすく重症化するリスクが高い傾向があるとしています。その理由として、体内に取り込まれたウイルスが細胞に感染する際に必要とされる酵素が、喫煙によって肺の中で活性化しやすくなるためだとの見方を示しています。また、米医学誌に報告された中国の専門家グループの論文では、1099人の患者を分析した結果、喫煙者は非喫煙者に比べて、重症化や死亡する割合が約3倍だったとしています。たばこによる体への悪影響は禁煙しても一定期間は残ると考えられています。感染した場合の重症化リスクを少しでも抑えるとともに、受動喫煙による第三者のリスクを抑えるため、当面の間卒煙支援室を閉鎖し学内を全面禁煙とします。また、喫煙されている方に対しこの機会に禁煙に取り組まれることを強くお勧めします。